



妙典小だよい



Well-being な学校づくり

—子どもが通いたい学校、保護者・地域が通わせたい学校・教職員が働きたい学校—

主体性を育てる ~自主・自律・共生~ 令和7年12月8日12月号

公開研究会(生活科・総合的な学習の時間)

校長 富永 香羊子

妙典小学校では、開校以来、1・2年生の生活科と3年生以上の総合的な学習の時間を学習の柱として、子供たちの学びと探究心を育んできました。今年度は、昨年度に引き続き、子供達の学習の振り返りを大切に授業を行っています。妙典小における「振り返り」とは、その時間に学んだこと、発見したこと、友達同士で意見交換したことなどを通して、子供自身が、何を考え、何を思い、どのように成長したのかということを、発達段階に合わせて、言語化して記述することです。1・2年生は、AI を駆使して作成した「わおともさん」というキャラクターを使って「わ:わかったこと」「お:おもしろかったこと」「と:ともだちのいきん」「も:もっとしりたいこと」を、毎時間の最後に振り返りとしてまとめています。昨年度までは、「振り返りカードを書きましょう」と言ってまとめを行っていましたが、今年度は「わおともさんを書きましょう」に変更しました。すると、子供たちは何の戸惑いもなく、「わおともさん」を書き始めるようになりました。学習のまとめというと、文章を書くことに苦手意識があると取り組みにくい面がありますが、「わおともさん」は、親しみやすいキャラクターなので、子供達は難しく考えずにスムーズに学習のまとめに取り組めるようです。

ちょっと苦手だなあと思う学習も、ちょっとした工夫で苦手意識が軽減することがあります。生成AIとも上手に付き合いながら、子供達の学びを更なる高みへ導いていきたいと思います。ご家庭でも、ご家族で何かに取り組んだ際に、「わおともさん」で、子供達と意見交換をしてみてはいかがでしょうか。



■第3回学校運営協議会(12/4) ブロック12/16予定

協議会では、保護者の皆様から頂いたアンケートと子供たちが行ったアンケートとともに、前期の学校評価を行っていただきました。学校図書館の活用について、保護者、児童ともに高評価となり、学校図書館を活用した探究学習が進んでいる点を評価していただきました。その後は、校内を回って授業参観を行ってから、給食の試食をしていただきました。第一回の協議会で、委員の方から提案がありました「地域への防犯カメラの設置」について、委員の皆様、地域の自治会の皆様のご尽力により、この度、学童側の校門前の道路に、設置されることが決まりました。

■学校支援実践講座交流会(5年生:10/31・4年生:11/25)



今年も、学校支援実践講座交流会を実施しました。これは、学校、地域全体で「いじめの未然防止」を図ることを目的とし、「子供達の健全な育成を支援することに興味・関心があり、子供達や先生、学校の力になりたい」という市民を対象に人権に関する講座を開催し、講座の受講者が学校に対する地域支援者となって、小中学校での交流会に参加する取り組みです。交流会では、地域支援者の方々が各班の話し合いの進行役を務め、異なる視点や考えを引き出す役割を担ってくださいます。子供達も先生ではない大人の方の前だと、ちょっと本音が出せるようで、普段、発言が苦手な子も進んで意見を言う場面が数多く見られました。地域支援者の皆様、ありがとうございました。

■はあとふるコンサートを参観して～保護者アンケートより～

今年度は、インフルエンザによる学級閉鎖の影響で、校内のはあとふるコンサートが、翌週に延期となりました。11月からアリーナのエアコン設置工事が始まるため、アリーナが使用できなくなるので、学年間の日程調整が難しく、1・2・6年生と3・4・5年生が、それぞれ対面でコンサートを実施することになりました。また、6年生とコーラス部は、休み時間に実施して、全校児童の前で素敵な歌声を披露しました。対面で聞けなかった学年については、動画での視聴となりましたが、素敵な歌声と演奏は、子供達の心にあったかはあとをたくさん降り注いだことだと思います。保護者アンケートにもご協力くださいありがとうございました。

【各学年の感想】

1年生：限られた準備期間の中、歌詞や振り付けに演奏とたくさん頑張る姿に成長を感じました。動物の耳の小道具がとても可愛かったです。犬の耳にそれぞれの個性が表っていました。

学級閉鎖後とは思えない仕上がりで感動しました！4月からの成長を感じられて嬉しかったです。

とても楽しくて、あつという間に終わってしまいました！子供達が一生懸命歌ってる姿は微笑ましく、あたたかい気持ちになりました。

2年生：学級閉鎖があったにも関わらず、元気な歌声と可愛らしい劇に、見ている私たちは元気をもらいました。

本番直前に十分な練習ができないなか、しっかり声も出せていてとてもいい発表でした。

昨年よりも歌、合奏ともにレベルアップしていたと思います。

ダンスあり、寸劇ありで、一年で随分成長したように感じました。触覚の被り物がとても可愛かったです。

3年生：とても可愛らしい作品でした。ただ我が子の表情があまりに真顔だったのでもう少し笑っても良かったんじゃい？！と話していたら「お母さん達に笑ってほしいから私たちは笑っちゃいけないんだよ。」と言っておりました。我が子がオーディションや練習を頑張っていたので本番を見て感動しました。

4年生：子ども達が一生懸命歌ったり演奏したりしている姿を見ることがでよかったです。トトロや猫バス、木など工夫があり、見ているこちらも楽しくなりました。歌も年々上手になっていると感じました。

休み時間も使って練習したとのことで、全体的に完成度が高く、大迫力で感動しました。楽器や劇など様々な役割があり、自分で選んで挑戦することができるのも良かったです。

5年生：毎年素晴らしいですが、合唱も合奏も5年生になってますます迫力が増し、とても見ごたえ聴きごたえがありました。全員での合唱は心を震わされ目頭が熱くなりました。

普段使わないような楽器を使っての演奏、最初に1人の子の呼び声から始まるなどとっても新鮮な演奏でした。

合唱曲は初めて聴く曲でしたがとても良い曲で、また子どもたちの歌声が綺麗で素敵なお発表でした。

6年生：これまでビデオや写真を撮ることに気がいってしまいがちでしたが、小学校最後のはあとふるコンサートは自分の目だけで鑑賞し、最高学年らしく素晴らしい合唱に、感動で目頭が熱くなりました。

想像をはるかに上回る上手さで感激しました。子供達の頑張りはもちろんのこと、先生方のご指導の賜物です。誘導もとてもスムーズでした。素敵なお会をありがとうございました。

この間、入学したばかりのような気がしますが、6回目のはあとふるは大変感慨深かったです。

【全体的な感想・ご意見等】

- ・保護者観覧については導線もよく考えてくださっており、事前にプリントでの説明もあり準備に感謝いたします。
- ・保護者の案内、誘導、先生方大変だったかと思いますが、スムーズに入れ替えができ、感謝しています。
- ・今年は時間も押すことがなく、時間通りに運営できていってとても円滑に進んでいました。
- ・子供の出番が続いている場合外に出ることなく、そのまま校内で並び直せるのはとてもありがたかったです。しかしながら、この運営だと前の演奏から観覧している保護者は1番前に並べてしまうので、来年も同じ運営をした場合、名札の学年別のシールをしっかりと確認しないと前の学年の演奏から観覧して、そのまま並び直す保護者が出てきそうなので、対策をした方が良いと思いました。

→ 貴重なご意見ありがとうございます。名札の持參と学年別シールの添付を徹底していきたいと思います。